

# 当施設における 介護職員等処遇改善加算 取得状況について

## 2026(令和8)年度の加算区分について

事業所番号	事業所名	サービス名	加算区分(4～5月)	加算区分(6月以降)
4471000580	特別養護老人ホーム太陽の家広寿苑	介護老人福祉施設サービス	加算Ⅰ	加算Ⅰロ
4471000598	特別養護老人ホーム太陽の家広寿苑	介護老人福祉施設サービス	加算Ⅰ	加算Ⅰロ
4471000580	短期入所生活介護事業所太陽の家広寿苑	(介護予防)短期入所生活介護	加算Ⅱ	加算Ⅱイ
4471000606	短期入所生活介護事業所太陽の家広寿苑	(介護予防)短期入所生活介護	加算Ⅰ	加算Ⅰイ

## 職場環境等要件について

以下の区分ごとにそれぞれ2つ以上(生産性向上は3つ以上うち⑩または⑪いずれか必須)

区分	具体的内容	法人（施設）としての取組
入職促進に向けた取組	● ① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	ホームページやパンフレットへ明記、事業所内への掲示。新人研修や全体会議での教育。
	● ② 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	面接から採用まで法人で一体化し実施。事業所間の人事異動。事業所を跨いだ専門委員会活動、本部間研修。
	● ③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	年齢問わず未経験者の採用も行っている。中高年齢者の採用実績あり。
	● ④ 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	地域行事への協賛。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	● ⑤ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	受講費用の補助、勤務調整、各専門技術研修への派遣。
	● ⑥ 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	職位に応じた人事考課制度(職務等級規程)を導入。
	● ⑦ エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	新規採用者には指導担当者を配置し、業務遂行の指導・助言を実施。
	● ⑧ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	上長による定期面談で意向確認と育成指導を実施。
両立支援・多様な働き方の推進	● ⑨ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児・介護休業制度の周知。看護休暇等の利用促進。
	● ⑩ 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	育児短時間の基準値以降の付与制度の導入。正規登用制度の導入(実績あり)。
	● ⑪ 有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声掛けを行っている	有休取得の数値目標(全体で35%)を公表。取得状況を労働安全衛生委員会で共有・公表。
	● ⑫ 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	情報共有や複数担当制等により業務の属人化の解消及び業務配分の偏りの解消に努めている。
腰痛を含む心身の健康管理	● ⑬ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	産業医、健康サポートセンター(常勤公認心理師)、職場環境改善委員会の設置。
	● ⑭ 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	全職員の健康診断・ストレスチェック実施。休憩室の設置。
	● ⑮ 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	職員のノーリフティング関連の研修受講。管理職対象の労務管理研修を定期的に実施。
	● ⑯ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故対応マニュアルの整備、委員会での事例の共有による予防措置を実施。
生産性向上(業務改善及び働く環境改善)のための取組	● ⑰ 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築を行っている	各種委員会・改善活動班の設置。介護テクノロジーの活用による職員の身体的・心理的負担軽減。介護記録の電子化。インカム導入による職員間の情報共有の迅速化等。
	● ⑱ 現場の課題の見える化を実施している	各種会議による課題検討。時間外労働時間の実績を毎月公表。
	● ⑲ 5S活動等の実践による職場環境の整備を行っている	衛生管理者による職場巡視の実施、改善。5S活動・環境衛生班の設置。
	● ⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	業務マニュアルの整備。介護記録の音声入力導入。介護ソフトや連絡ツールの活用による申し送り事項の共有。
	● ㉑ 介護ソフト、情報端末の導入	介護ソフト・タブレット端末・スマートフォン端末を導入。
	● ㉒ 介護ロボットまたはインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入	見守りシステム・インカムを導入。
	● ㉓ 業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に間接業務がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等をおこなう	直接的な介護には携わらない支援員を配置し、清掃・洗濯・ベッドメイク等を担っている。
● ㉔ 各種委員会の共同設置、各種方針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICTインフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	個人情報管理委員会、防火・防災対策委員会、感染対策委員会等共同で実施。事業計画の共同策定、ICTインフラ整備、人事管理システムの共通使用。	
やりがい働き方の醸成	● ㉕ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	日々の申し送りや各種会議等による情報共有と改善の実施。
	● ㉖ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	ボランティアグループや地域団体との行事交流。
	● ㉗ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	初任者研修、本部間研修の実施。理事長による定期的訓示。
	● ㉘ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	家族からの謝意は職員間の連絡ツール等で情報共有。ケアの好事例を気づきレポートで報告。